

環境レポート2023



日本無線硝子株式会社 代表取締役社長 吉田 桂二

2022年4月～2023年3月（令和4年度活動）



ニュートリノ検出器

コンテンツ

- 当社の環境活動
- 体制図
- 環境中期目標
- 温暖化対策
- 環境パフォーマンス
- 令和4年度の環境目標・実績
- 令和4年度の環境活動

当社の環境活動

日本無線硝子は「公平で誠実な事業活動を通じてお客様によるごばれる価値を提供し、豊かな社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、適切な資源・エネルギーを選択し、その使用量を適切に管理し、お客様に最大の価値をもたらす製品を提供しています。

また日清紡ホールディングス(株)グループの一員として、持続可能な社会を目指しSDGsの主旨に賛同し目標の実現に向け活動しています。

当社のISO14001の取組みは2002年に導入し今年で22年目になります。導入当初から企業としての本来業務と連動させた環境保護や環境配慮に努めてまいりました。毎年トップダウンで環境目標を定めて、その目標達成のため全社一丸となって環境活動に取り組んでいます。また毎月開催される環境委員会で活動の進捗状況をフォローし、PDCAを回しながら継続的改善に取り組んでいます。

埼玉県の「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050（地球温暖化対策実施計画）」に対応し、「目標設定型排出量取引制度」を規準として、二酸化炭素排出量を基準値比20%削減することを目標に取り組んでいます。

当社の事業の特徴は、ガラス職人の高度な技能から生まれる質の高い製品の成型・加工にあります。これらの製品は、イカ釣り集魚灯などの特殊放電灯やX線管・イメージ管など医療用機器、さらには宇宙の謎を解き明かすカミオカンデの光電子増倍管まで、多岐に渡り社会に貢献しています。

これからも、限りある資源やエネルギーをいかに有効に活用するか、職人技能と生産設備との共存を目指し、日夜努力して参ります。

ここに「環境レポート2023」をまとめました。私たちの環境への取り組みとその現状についてご一読いただき、ご意見をいただければ幸いです。

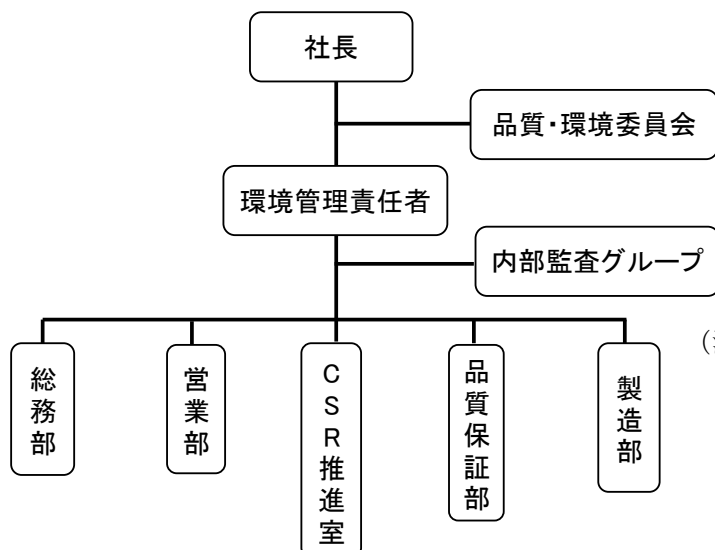
2023年8月

環境方針 基本理念

私たち日本無線硝子株式会社は、ガラス製品づくりにもなって発生する環境への負荷を可能な限り低減し、持続可能な社会の構築に貢献します。ものを活かし、人を活かすために、考え続ける集団を目指します。

※環境方針の詳細は、弊社のホームページをごらんください。（www.jrg.co.jp）

□ 環境マネジメント体制図



(注記) 当社は第2種エネルギー管理指定工場です。
エネルギー管理士、公害防止管理者、その他の法定管理者が選任され、活動しています。

□ 環境中期目標

1. 地球温暖化対策を強化し、環境にやさしい事業活動を目指す

令和2年度～令和6年度のCO₂排出量を平均値で、基準値比20%削減

基準値：5,542 t-CO₂[※]（平成17年度～19年度平均値）

※県の電気の換算係数変更が基準数値に反映されております。

※これは、埼玉県目標設定型排出量取引制度に対応したものです。

2. 環境負荷の低減

産業廃棄物のリサイクル率 96%以上

CO ₂ 削減目標		基準値	埼玉県条例：第3計画期間				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	目標量	5,542	4,433	4,433	4,433	4,433	4,433
	削減率		20%	20%	20%	20%	20%
	実績		4,787 (14%減)	5,116 (8%減)	5,284 (5%減)		

□ 温暖化対策（中期計画）

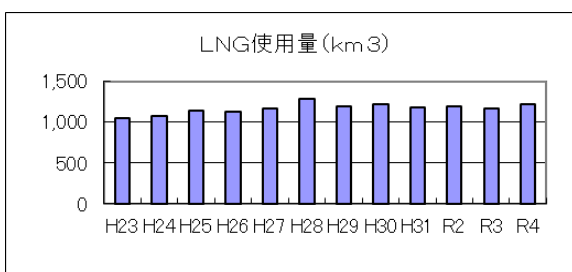
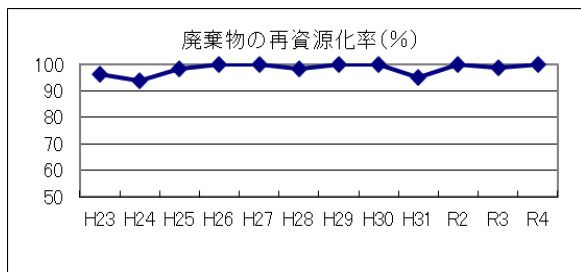
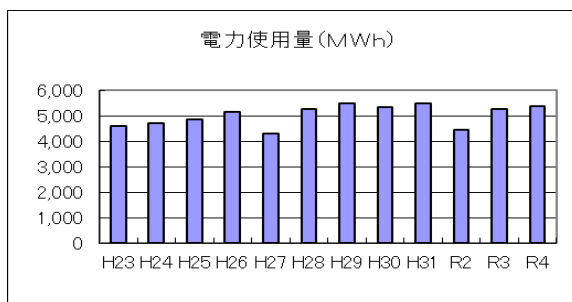
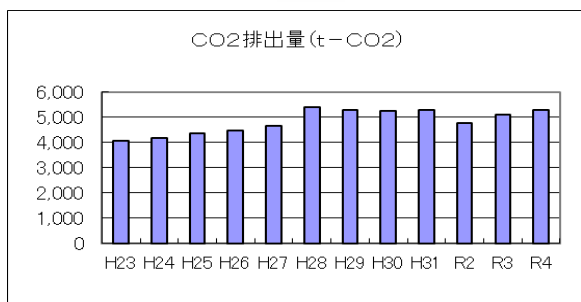
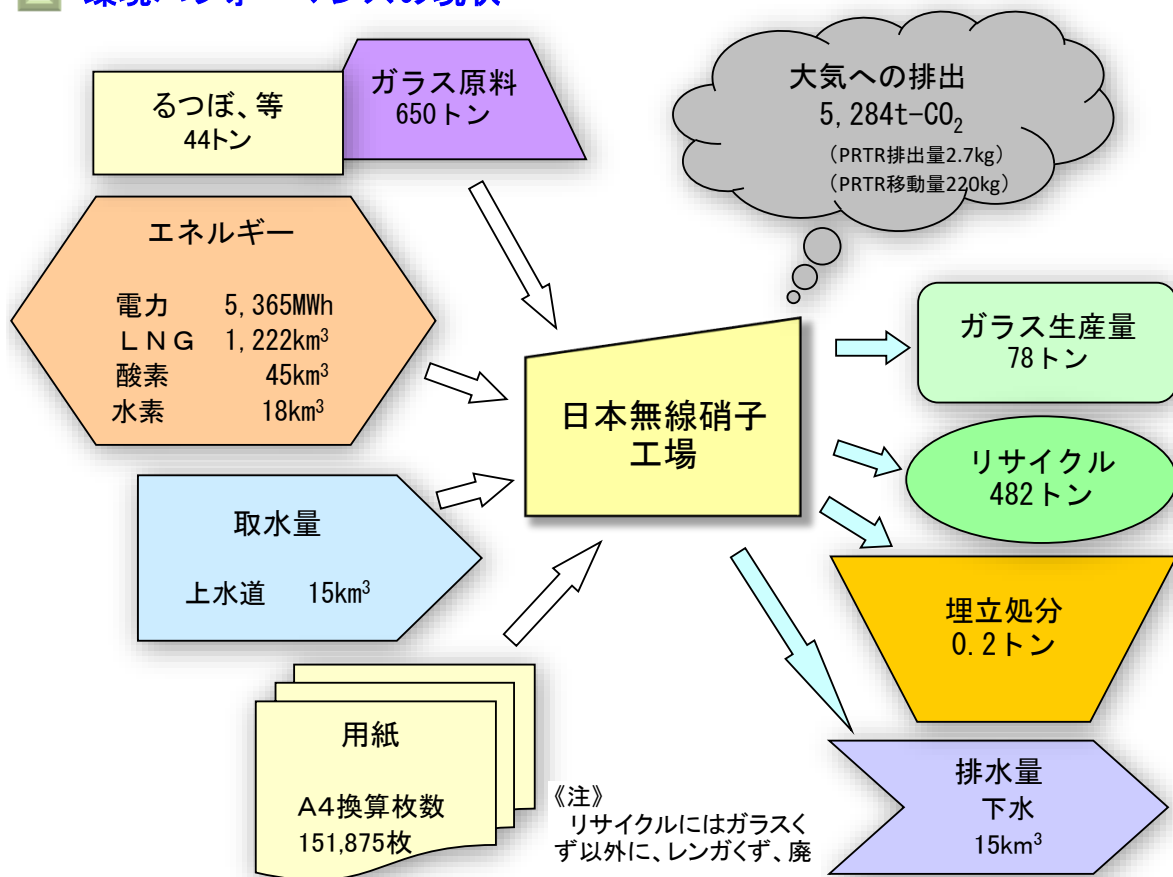
1. 電力使用量削減の取り組み

- 電気炉の定期的な炉修
- 電力設備の省エネ設備への更新
- 運用改善による使用電力削減

2. LNG使用量削減の取り組み

- 小型炉の断熱性改善による燃費削減
- 歩留改善によるLNG使用量の削減
- 運用改善による使用LNG削減
- 省エネ燃焼技術の研究

環境パフォーマンスの現状



■ 下水排水水質分析結果

定期的に採水し分析を行い法規制値を満足しているか確認しています。4項目全てにおいて法規制値を満たしております。

	法規制値	測定値
BOD (mg/l)	600以下	50
SS (mg/l)	600以下	87
鉛化合物 (mg/l)	0.1以下	0.01未満
砒素化合物 (mg/l)	0.1以下	0.03

令和4年度の環境目標とその実績

1. 地球温暖化対策の強化

目標：CO₂排出量を、平成17～19年度平均値を基準とし、基準値比20%削減

実績：基準値 5,542 t に対し、令和4年度 5,284 t、5%削減

★目標20%削減に対して、実績は5%削減となり、目標を下回りました。

R3年（前年度）との比較では、前年度のCO₂排出量5,116t-CO₂に対して、R4年度のCO₂排出量は5,284t-CO₂となり、168t-CO₂（対前年+3%）増加しました。

内訳で見ると『LNG』はR3年度に対して、R4年度は対前年5%増加しました。増加した理由は生産増により稼働POT数が増えLNG使用量が増えた事によります。また『電力』はR3年度に対してR4年度は2%増加しました。増加した理由は電気炉の耐熱煉瓦の経年劣化で断熱性能が劣化しその分電力量が増えた事によります。

2. 環境負荷の低減（環境保全の継続的取り組み）

目標：産業廃棄物のリサイクル率 96%以上

実績：100%

★目標を達成しました。

今後も環境負荷の低減のため、環境保全の継続的な改善活動に取り組んで参ります。

令和4年度の環境活動

1. 作業及び工程見直しによるエネルギー効率向上を目指す

当社のCO₂排出量の9.9%は電力とLNGが占めており、それぞれほぼ半々の割合です。従って電気炉と坩堝のエネルギー管理が重要と考え、管理手法の研究に継続して取り組んでおります。

2. 環境整備

環境法に基づいた対応を行っており、設備の改善・点検強化等の施策を図り、法順守を強化してきました。

3. 生物多様性への対応

- 平成27年3月からNPO主催の近隣の新河岸川清掃美化活動に参加しておりますが令和4年度もコロナ禍の影響で不参加でした。また、社内にガラスバルブを流用したビオトープを設置しております。



4. 社会貢献

- エコキャップ運動に継続して取り組んでおります。令和4年度は、17,032個回収し、ポリオワクチン43名分相当となりました。



日本無線硝子株式会社

〒356-0011

埼玉県ふじみ野市福岡

2-1-8

(TEL:049-264-4413)

発行：CSR推進室環境グループ